

雨量

国分寺町内の雨量情報等

新居（学校橋）、大平山、橘の丘総合運動公園の3箇所  
測定しており、時間雨量 10分雨量 累計雨量 が確認  
できます。

土砂災害

河川監視カメラ

新居（学校橋）・福家（高速道路下）に設置されており、  
水位状態を確認できます。

水位



かがわ防災Webポータル  
(URLリンク)



防災情報メールの登録  
携帯メール等で、気象情報や避難  
情報等を受け取ることができます。  
(URLリンク)



上記QRコードを読み取り、案内  
にしたがって登録してください。

----ラップの便利な使い方----

❁お皿に敷く

上からかけるのではなく下に敷くという使い道がある  
お皿にラップを敷いてラップのみを交換すれば、食器  
を洗わなくても衛生的な食事が可能になる。  
また、炊き出しでおにぎりを作るときも衛生  
状態を保つための必需品となる。

❁防寒対策

温めたい場所に巻くだけで冷気をシャットアウト  
脚やお腹など、温めたい箇所にそのまま巻くだけでも  
冷気の侵入を防いでくれるし、新聞紙がある場合は、新  
聞紙を巻いた上からラップで包めば、さらに温かい。



❁応急処置

包帯やガーゼの代わりに、さまざまな応急処置に使える  
もしけがをした場合は、傷口を洗浄し、ガーゼのように  
ラップを当てて保護するだけでOK。他に、骨折時は、患  
部に段ボールや板で添て木を当て、ラップで巻いて固定す  
ると、テープなしで接着できる。三角巾としても使えるほ  
かひも状によれば止血帯としても使える。

❁保湿

ラップのパック効果で、乾燥ダメージをケアする  
避難生活が長引くと、女性の場合肌のダメージがストレ  
スになってくる。そんなときはラップでお肌のケアができ  
る。乾燥が気になる部分にオイルや保湿系のクリームを塗  
り、上からラップをかぶせるだけでOK。水分と体温でス  
チームパック効果が得られる。

Time to think (考える時間)

災害・被害のイメージをもつ

平日 15時 震度6強相当を体感したら.....

- ①「支援者」である前に「被災者」
- ②何ができて、何ができないのか
- ③何を優先させるのか

あなただったらどんな行動をしますか？

|               | 何をしますか？ |
|---------------|---------|
| ドン！<br>(揺れ始め) |         |
| 30秒後          |         |
| 3分後           |         |
| 30分後          |         |
| 1時間後          |         |
| 3時間後          |         |
| 6時間後          |         |

自宅を離れ避難所へ その時必ず戸締りを！

自治体から避難指示があった場合はもちろん、自宅  
が危険と判断した場合や、自宅で生活できないと判断  
した場合、近くの指定避難所へ向かいます。その際に  
戸締りを必ずしましょう。空き巣被害は被災地に追い  
打ちをかけます。玄関や窓の鍵はもちろん、カーテン  
も閉め、窓ガラスが割れている箇所はレジャーシート  
や段ボールなどでカバーを。玄関に  
「〇〇公民館に避難しています」など  
とメモを残し、帰宅した家族や訪ねて  
きた知人に居場所がわかるように。  
漏電防止のため電気のブレーカーも落  
とし、ガス漏れや漏水もしないよう、  
ガスと水道の元栓も閉めて行きましょう。



災害頻発時代の防災マニュアル(タツミムック)より

編集後記

今年こそ災害の無い年であるよう願っていますが、  
昨年大型台風、集中豪雨、地震と不安な要素を挙げ  
ればキリがありません。南海トラフ巨大地震もい  
つ起こっても不思議では無いと言われています。阪  
神・淡路大震災、東日本大震災の記憶は、今もかけ  
がえのない生命の重さと備えの大切さを私たちに教  
えてくれます。国分寺北部校区自主防災組織連絡協  
議会では、これからも普段から出来る防災、備え等  
を取り上げ皆さんと一緒に考えていきたいと思いま  
す。よろしくお願ひ致します。



# 自主防だより

発行日 平成31年 3月 15日  
 発行者 国分寺北部校区  
 自主防災組織連絡協議会  
 連絡先 ☎087-874-5805  
 (国分寺北部コミュニティセンター)

昨年は日本国内で自然災害の多い年でした。国分寺北部校区管内では、お陰様で大事に至らずに済みました。やはり一番の心配事は、南海トラフで発生する巨大地震です。いつ起きても不思議ではない周期になっており、そのためには何をしたら良いか考えてみましょう。自宅が昭和56年以前の建物であれば、先ず耐震診断(普通の住宅で自己負担約1万円です)をして自宅の耐力を知り対策をする。家具類の固定をする。食料備蓄は3日分、出来るだけ1週間分。

北部校区自主防災会では、貯水量5万トン以上のため池堤防が地震で決壊した場合、下流で家屋が流される区域があります。そのため下流住民の安心・安全のために、平常時から非灌漑期には出来るだけ貯水位を下げるよう、また気象庁から南海トラフ地震情報(臨時)が発せられたら早急に水位を下げるよう、池の管理者へ要望しております。

新年度には、防災・減災の訓練等をしますのでご参加下さい、いざと言う時には訓練した以上の事はなかなか出来ません。訓練に参加し自分の身に付けて、家族を守りましょう。

国分寺北部校区自主防災組織連絡協議会 岡 重範

## 地区防災計画

地区防災計画は、住民が相互に協力して防災活動を行うため、また、災害による被害を軽減するためにも、地域の皆さんで地域の特性に合わせた防災計画を作成する必要があります。

高松市の場合、1.コミュニティ継続計画、2.避難所運営マニュアル、3.地域防災マップ(作成済)この3点を作ると高松市の地域防災計画に反映されます。

### 1.国分寺北部校区コミュニティ継続計画

大規模災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのときに力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

阪神・淡路大震災では、地域住民が自発的に救出・救助活動を行い、多くの人命が救われました。東日本大震災でも、避難所生活が長くなった地域住民が助け合っって様々な困難を乗り越えていったことを、私たちは知っています。

私たち住民は、南海トラフ巨大地震が発生しても最初の一週間は「私たちの地域は私たちで守る」という心構えで、地域のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。

コミュニティ協議会では、地域住民や関係機関が協働して「安全・安心まちづくり事業」を実施しています。この中で検討した平常時や災害時に実施すべき災害対応や避難行動要配慮者(災害時要援護者)等への施策の要点を本計画に取り入れ、活動方針としました。

今後、防災訓練等を通じて地域住民の皆様コミュニティ継続計画を理解して頂き、北部校区からは一人の犠牲者を出さないよう皆様と共に実行してまいります。

### 2.避難所運営マニュアル

前記コミュニティ継続計画で示されておりますように大規模災害時には公的防災機関が十分には対応しきれません。南海トラフ巨大地震では校区内で震度6強、液状化危険度A、ため池堤防決壊の恐れがある地域があり、北部校区内人口の約1割が避難者となる事が想定されています。

国分寺北部校区には7箇所、高松市指定の避難所があります。これら避難所について施設管理者と協力して避難所開設、運営について事前に事細かく取り決めを行い、携わる皆様に解りやすく開設、運営をマニュアル化します。

### 3.国分寺北部地域防災マップ

平成29年3月末に全世帯に配布済。



## 大雨情報変わります

政府の中央防災会議の作業部会は昨年12月26日、大雨・土砂災害時に行政が出す防災気象情報を住民に分かりやすく伝えるため、切迫度に応じ5段階に区分した警戒レベルで発信することを柱とする報告書を山本順三防災担当相に提出した。政府は今年の台風シーズンまでに運用を始める方針です。(四国新聞より)

| 大雨防災情報の5段階区分案 |                   |             |
|---------------|-------------------|-------------|
| 警戒レベル         | 行政の防災気象情報         | 住民に求める行動    |
| 5             | 災害発生              | 命を守る最善の行動   |
| 4             | 避難勧告・指示           | 速やかに避難      |
| 3             | 警戒、避難準備、土砂災害警戒情報  | 高齢者らは避難     |
| 2             | 洪水・大雨注意報          | 避難場所や経路を再確認 |
| 1             | 数日中に警戒級の大雨が降るとの予報 | 最新の気象情報に注意  |



# 平成30年7月西日本豪雨災害についてのアンケート結果

アンケート配付262件 回収124件(回収率 47%)

- 災害情報については、大多数の人(96%)が知っていました。
- 何で災害情報を知り得たかはラジオ、テレビとスマホ等の携帯電話でした。
- ほとんどの人が避難しなかった理由は避難勧告の対象地域に入っていない33%、降雨の状況を見て心配ない33%、夜中の避難は危険だ15%、今まで災害にあった事が無い14%、鉄筋コンクリート造りで安全だから5%でした。本津川沿川での避難勧告は南部の福家での氾濫危険水位だったこと、また16年災害の氾濫は香綾橋(県道国分寺太田上町線)の落橋により河道が閉塞された事を皆様良く知っています。(現在香綾橋改築済)又発令が午前1時15分深夜だった事が考えられます。土砂災害での避難勧告、今年の6月に県市の指導により、新居北ブロックで大勢の住民皆様が参加して土砂災害対応の避難訓練をしたところでしたが残念です。避難勧告は午後5時に発令、夕方の明るい時間帯であったのに係わらず避難してもらえませんでした。市発令の避難勧告対象地域は国分寺町全域(本津川流域及び新名を除く)と発表された事によるものかわかりません。
- (6)で避難する事に関して誰かが避難行動のスイッチを入れたら避難行動するが90%近くになり、これも現実の災害時に避難スイッチが入るかと言えば疑問です。
- (7)で住居近くの市指定避難所は半数以上が決めていました。決めていない家族も早急に決めますという意見がありました。今後は全住民が決めてほしいものです。
- (8)コミュニティ協議会発行全世帯配布の国分寺北部地域防災マップの理解度を聴きました。80%近くが理解していましたが、今後さらに理解して頂く努力が必要です。
- まとめ  
今後の課題として、いかに住民に災害リスクを理解してもらい避難行動につなげるかです。7月豪雨の後に襲来した台風24号でも本津川沿いで避難勧告、土砂災害についても町内全域に避難準備情報が発令された、避難所に避難したのは少数でした。

## (1) 高松市より発令された1~5の災害情報について

|         | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|---------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ①知っていた  |   |    |    |    |    |     | 96% |
| ②知らなかった |   |    |    |    |    |     | 4%  |

## (2) (1)の間で「知っていました」と答えた方にお聞きます、何で知りましたか

|                   | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|-------------------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ①ラジオ(防災ラジオ除く)・テレビ |   |    |    |    |    |     | 32% |
| ②防災ラジオ            |   |    |    |    |    |     | 16% |
| ③その他              |   |    |    |    |    |     | 52% |

## (3) (2)の間で「その他」と答えた方にお聞きます

|            | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|------------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ①インターネット情報 |   |    |    |    |    |     | 6%  |
| ②スマホ等の携帯電話 |   |    |    |    |    |     | 94% |
| ③その他       |   |    |    |    |    |     | 0%  |

## (4) (1)の間で「知っています」とお答えの方にお聞きます

|          | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|----------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ①避難した    |   |    |    |    |    |     | 3%  |
| ②避難しなかった |   |    |    |    |    |     | 97% |

## (5)間で「避難しなかった」方にお聞きます。なぜ避難しなかったのですか(複数回答可)

|                                | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|--------------------------------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ①今住んでいる所が避難対象地域に入っていないかった      |   |    |    |    |    |     | 33% |
| ②今住んでいる所が鉄筋コンクリート等の頑丈でかつ高さがあった |   |    |    |    |    |     | 5%  |
| ③降雨の状況を見て心配ないと思った              |   |    |    |    |    |     | 33% |
| ④今まで災害に有った事が無い                 |   |    |    |    |    |     | 14% |
| ⑤真夜中、大雨の中避難するのは危険だと思った         |   |    |    |    |    |     | 15% |
| ⑥避難所がわからない                     |   |    |    |    |    |     | 0%  |

## ⑦ その他

- ◆避難指示でなく勧告だったので
- ◆自宅が高台にあり避難所に避難する方が危険と思ったから
- ◆避難所は遠く、川や橋を渡っていくのは危険と判断した
- ◆自宅周囲の最高水位が予測されるから
- ◆家族の体調が悪かったため
- ◆避難所から家が近く、家も安全だと思ったため
- ◆避難所へ行くより自宅の2階が安全だと思ったから
- ◆避難所が遠く移動手段が分からない(足が不自由)
- ◆避難の為に荷物を準備したが、90代の母が避難所で難儀しそうと考えると避難できなかった

(6) (4)の間で「②避難しなかった」家族にお聞きます。今後、避難準備・高齢者避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)が発令され、消防団や自治会等から避難して下さいと言われたら避難しますか

|         | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|---------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ① 避難する  |   |    |    |    |    |     | 87% |
| ② 避難しない |   |    |    |    |    |     | 13% |

## 避難しない理由

- ◆避難指示の場合は避難するが、臨機応変に対応したい
- ◆たとえ自宅が破損しても、避難するより安全だと思う
- ◆今指定している場所はいけない
- ◆高台に住んでいるため
- ◆足が少し悪いので車でないと避難できません
- ◆外に出るのが危険だから
- ◆車椅子、ペットのため避難する方が危険だと判断する
- ◆避難所が遠い
- ◆家が頑丈
- ◆マンション10Fなので大丈夫かと
- ◆小さい子供がいる



## (7) 家族で避難所は決めていますか(例 国分寺北部小学校、香川県青年センター等)

|                   | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|-------------------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ①決めている            |   |    |    |    |    |     | 55% |
| ②決めていない           |   |    |    |    |    |     | 23% |
| ③まだ決めていないが、早速決めます |   |    |    |    |    |     | 22% |

## (8)今の住んでいる所について、国分寺北部地域防災マップで自然災害の危険度を知っていますか

|          | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100 |     |
|----------|---|----|----|----|----|-----|-----|
| ① 知っています |   |    |    |    |    |     | 76% |
| ② 知りません  |   |    |    |    |    |     | 24% |



**避難訓練&防災訓練**  
10月20日(日)に実施します。是非ご参加ください。

国分寺北部校区コミュニティ協議会が発行した「地域防災マップ」をみて、ご家庭で災害時に家族が慌てず行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。



# 身の回りを点検しよう

防災は身近なこと、できることから、まず始めるべき。部屋の家具の配置を見直すのは、その最たることといえるだろう。自分の部屋が安全かどうか、いま一度チェックしてみよう。

- 寝室や子供・高齢者の部屋、出入口付近にはできるだけ背の高い家具は置かないようにしましょう。
- 就寝位置を家具から離れたり、転倒しにくい側方とするといった方法も考えられます。
- 重量のある家電製品はできるだけ低い位置に置くようにしましょう。

✕ 頭の上にエアコンや照明がある

✕ 家具が倒れてくる位置にベッドやソファがある。



✕ 花瓶などの壊れやすいものが高いところにある。

✕ 重い本や食器が上のほうにある。

○ 逃げ道が確保されている。

✕ 寝室に背の高い家具がある。

○ 万が一寝ている時に家具が倒れても直撃しない

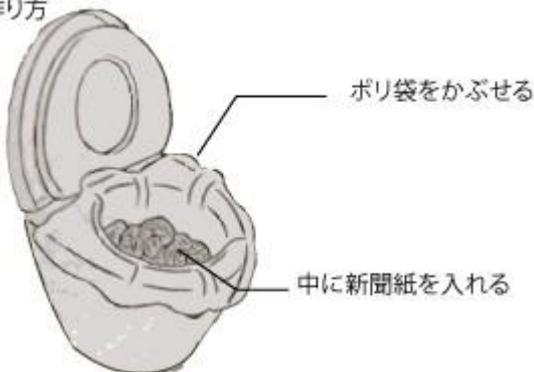
## 新聞紙とポリ袋があれば応急トイレが作れます

用意するものは新聞紙2.3枚と45ℓ用のポリ袋2枚。新聞紙の代わりにオムツ、ペット用シートなどでもいい。ポリ袋は何でも大丈夫です。主に家庭用のゴミ袋でも代用できると思いますが、先ずはこれを便器に覆うようにかぶせます。合計二枚のポリ袋を使用しますが、最初の一枚は便座を上げた状態で便器全体を覆うようなイメージでかぶせましょう。次いで二枚目のポリ袋は、便座を下した状態、つまり便座を覆うような感覚でかぶせます。

その上に新聞紙を適度にちぎり丸めた物を沢山入れて行きましょう。この際はある程度新聞紙の量があった方が良いです。便器の中の底が見えない程度には入れるようにしましょう。

応急トイレに併せて、忘れがちなトイレットペーパーや防災ウェットタオルなどの備えも必要です。

●作り方



## 寝室にスニーカーを備えましょう

食器や窓ガラス、本、水槽.....落下防止や転倒防止の備えをしても、地震の時には何が床に散乱するか分かりません。物が散乱した室内を安全に移動するために、最低限必要なのが足を保護する靴。スニーカーなど歩きやすい靴がベストですが、どうしても外履きを寝室に置きたくないなら上履きでもかまいません。旅行用などの折りたたみの簡易スリッパならば、枕元にしまいやすく、いざという時にすぐ手が届きます。また、入浴時に地震が発生した場合を考え、脱衣所にもスリッパと、すぐ羽織れるバスローブを置いておくといいでしょう。



## 非常用持ち出し袋とは別の、最低限の【枕元防災セット】

- 足の保護 ⇒ スニーカーやスリッパ
- 軍手 ⇒ 手の保護
- ライト ⇒ 停電時の足元を照らす
- ホイッスル ⇒ 救助を呼ぶため
- メガネ ⇒ 視力が弱い人
- 吸入薬の予備 ⇒ ぜんそくなど持病の薬



小物はポーチや巾着袋にまとめてベッドにくくりつけたり、枕や敷布団にはさむ、ベッドサイドの引き出しを利用するなどして、揺れで飛んでいかないようにしておきましょう。手が届く範囲でないという意味がありません。

## 湧水が飲めるかどうかの確認方法

災害時に飲み水に困った時、湧き水を見つければラッキーです。でも、気をつけないと毒性のある水の場合もあります。簡単なチェック法で安全かどうか見極めましょう。

### コケの有無をチェックして！

コケで毒性を判断しましょう。普段は透明でも、降雨時に濁った湧き水は川などから流れてきている可能性が高いため、飲み水ではなく、洗濯などに利用して。もし、湧き水が流れているまわりに緑色の青々としたコケが生えていれば、その湧き水に毒性がない証拠。飲み水として利用できます。



## 節水時にうまくシャワーを浴びる方法

震災による断水時など、節水する必要がある場合に活用できるワザです。海上自衛隊、特に潜水艦乗りの節水術は徹底しているので、効果は保証です。節水&節約に活かしても。

### 体を洗った後に髪を洗う！

貴重な水を無駄なく使用しましょう。シャワー浴びる時はまず、簡単にシャワーで頭から全身を濡らします。そして、ボディソープで首から下を洗っていき、頭をシャンプーします。その後、シャワーでシャンプーとボディソープの泡を一気に流します。(自衛隊防災BOOK【マガジハウス】より)